

22108 解剖生理学 I a、b Anatomical Physiology I		2 年次～ 後期 2 単位																	
担当者	鯨井 隆	履修可能学科	F 必																
		関連資格	管理・栄養・食衛(F)																
サブタイトル	人体の構造と機能																		
授業内容 ・ ねらい	人体のしくみとその働きを理解する。 主要な臓器について、その構造と機能を理解し、臓器相互の関連についても理解する。																		
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1. 人体の構造と機能</td> <td>9. 呼吸器系</td> </tr> <tr> <td>2. 個体の調節機構と恒常性</td> <td>10. 血液と造血器系</td> </tr> <tr> <td>3. 消化器系の構造と機能</td> <td>11. 運動器(筋骨格)系</td> </tr> <tr> <td>4. 循環器系</td> <td>12. 生殖器系</td> </tr> <tr> <td>5. 腎・尿路系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 内分泌系</td> <td>上記の一部には、2回に分けて講義を施行するものがある。</td> </tr> <tr> <td>7. 神経・精神系</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 感覚器系と皮膚</td> <td></td> </tr> </table>			1. 人体の構造と機能	9. 呼吸器系	2. 個体の調節機構と恒常性	10. 血液と造血器系	3. 消化器系の構造と機能	11. 運動器(筋骨格)系	4. 循環器系	12. 生殖器系	5. 腎・尿路系		6. 内分泌系	上記の一部には、2回に分けて講義を施行するものがある。	7. 神経・精神系		8. 感覚器系と皮膚	
1. 人体の構造と機能	9. 呼吸器系																		
2. 個体の調節機構と恒常性	10. 血液と造血器系																		
3. 消化器系の構造と機能	11. 運動器(筋骨格)系																		
4. 循環器系	12. 生殖器系																		
5. 腎・尿路系																			
6. 内分泌系	上記の一部には、2回に分けて講義を施行するものがある。																		
7. 神経・精神系																			
8. 感覚器系と皮膚																			
教科書 参考書	教) 『人体の構造と機能および疾病の成り立ち 人体の構造と生理機構』 (医歯薬出版)																		
評価方法	小テスト(毎回)、出席状況、授業態度																		
事前準備学習 履修条件等	解剖生理学は臨床医学の基本であり、予習復習も含め真剣に取り組みましょう。																		